No. 110　40. 12. 15

市報 とおかまち

（昭和32年6月5日第3種郵便物認可）　定価一部 5円　発行　毎月 15 日　発行所　十日町市役所

今月の納税

市・県民税	（4期）
国民健康保険料	（5期）
納期	12月25日

市のようす

面積	211.44 km²
男	24,155
女	26,302
計	50,457
世帯数	10,168

（住民登録による人口）

まず交通事故防止を
防犯、防火にも注意

明るく楽しい年末年始を

年の瀬もおし迫り何かとあわただしくなってまいりました。この十二月は他の月に比べ犯罪や事故の多い月です。みんなそろってこの歳末をのり切り明るく楽しいお正月を迎えられるよう一人、一人が心をひきしめ、犯罪や事故防止につとめていただきたいとねがっています。

交通事故を防ごう

年末になると飲酒の機会が多くなること、降雪などで道路がせまくなり路面がすべりやすいなど悪条件が重なります。特に当市内で最近酔っぱらい運転で大きな事故が起きたことは、まだ記憶に新しいですが、再びこのような事故をひき起さないよう充分注意していただきたいと思います。

またお正月は気のゆるみから思わぬ交通事故が発生する危険があります。車の往来には特にご注意下さい。

防犯の心得

ただいま歳末特別防犯運動実施中ですが、おたいに被害にかからないようつぎのことに気をつけましょう。

「一般家庭」

戸締りを忘れず、大金に家におかない。隣近所の協力体制をしていておくことです。

「銀行、会社、官庁、学校」

当直、夜警員の見廻りはきびしく防犯ベルなどを増設し、多額の現金輸送は数人で行なうこと。

「外出、雑踏場所」

置き引き、スリにご用心、必要以上の大金は持ち歩かないこと。

火の用心

寒さがきびしくなって火を使う機会が多くなってきました。石油コンロ、ストーブ、プロパンガスなど燃焼器具の使用については、正しい取扱いをすること。

犯罪が起きたら　一一〇番へ
火事、救急は　一一九番へ

工業統計調査にご協力下さい

毎年十二月三十一日現在で全国いっせいに工業統計調査が実施されておりますが、本年もまたその時期となりました。この調査はわが国の製造業に関するすべての事業所をもれなく調査し、工業の実態を把握するとともに生産活動に関する基本的資料を得るため調査するもので、この結果は単に通商産業行政の資料とするだけでなく、国および地方公共団体の行政施策の基礎資料として、また民間企業の経営の指針として広く利用される重要な統計調査で、当市でも約五十名の調査員を配置してこの調査にあたりますが、年末、年始の折柄かとご繁忙中とは存じますが、各事業所並びに調査員の方々にはこの調査の主旨をご覧いただきご協力お願い申し上げます。

実施計画の概要
市街地環境 輸送施設 の整備など
低工開発の十日町市

低工法指定の十日町地区の工事開発方向、性格などの大要について先月号でお知らせしましたが、十日町市関係の実施計画の概要は別表のとおりです。

（単位 億百万円）

計画事業内容	金額	計画事業内容	金額
機物共同作業所		区画整理4地区	
織物従業員共同宿舎	84	面積 186,100坪	139
設備近代化		住宅団地造成計画	139
設備合理化	275	工業団地造成2カ所	667
工業振興計画	359	工業団地造成計画	667
市道2線（工業用地道路）	57	上水道計画	260
街路整備 7線	268	下水道計画	36
舗装整備 3線	62	清掃施設計画	39
街路整備計画	330	職業訓練施設計画	10
除雪機械整備計画	8	公園 4カ所 1,254ha	20
消雪施設設置計画	22	ハイクコース・グランドその他	50
電話整備計画	60	緑地施設計画	70
第2種木造住宅	16	スキー場整備	26
第1種簡易耐火住宅	42	リクレーション施設	30
公営住宅建設計画	58	リクレーション施設計画	56

来年から家族にも七割給付
国保給付率を引上げ

懸案の国民健康保険の給付割合の引上げは、これまで財源問題等でのびのびとなっていましたが、このたびようやく実現の運びとなり、来年一月一日から世帯主のほかに家族の七割給付が実施されることになりました。このため来年一月一日からは、世帯主と同様に家族も七割給付されることになり、お医者さんへの窓口へは三割分を支払えばよいことになりました。そのために年度途中での保険料値上げは行なわない予定でありますが、この点ご了承願います。

新しくなった十日町駅

十日町駅舎の落工式は去る八日同駅で小忍長然同長らを迎えて行われ、十日町中学校ブラスバンドの祝賀行進もあって新駅舎誕生を祝いました。鉄筋二階建、待合室に織物展示コーナーも設けられた駅舎は織物の街にふさわしい玄関です。

明るい家庭をつくろう
青少年問題協議会が呼びかけ

明るくすこやかな家庭をつくろうと市青少年問題協議会では市民運動として、このほどつぎの目標や方針で各関係機関に呼びかけ、自主的に実行してもらおうと協力を望んでいます。

〃目　標〃

1. 笑顔であいさつしよう。
2. 家族全員で話しあいをしよう。
3. 親子そろって楽しむ機会をつくろう。
4. みんなが進んで手伝いをしよう。

〃運動の方針〃

「家庭の日」設定と普及

毎月一回例えば、第三日曜日を「家庭の日」と設定して、明るくすこやかな家庭づくりをする。

新しい民生委員決る
十日町市は65名

このほど任期改選があり、つぎの方々が十二月一日から三年間ご苦労されます。

○印は市代表総務　○印地区代表総務

【十日町地区】◎服部慶内、徳永泰三、田村トヨ、高橋栄助、堀津モト、中村かをる、塩川隆作、渡辺良、島田幸吉、植木正太郎、高木英次郎、渡辺市松、庭野治、高橋徳重、庭野六郎、中川光忍【中条地区】金子マスミ、佐野フミ、丸山哲夫、岩田三吾、○高橋忍郎、田村澄江、春川善七、橋本清一郎、佐藤三男六、水落良祐、池田福栄【下条地区】近藤英太郎、水落敬作、藤田つね子、○村山米平、関口貞治、水落トミ、水落長平【吉田地区】丸山喜平、○長野利八、春日重尚、太田健一、浦井キヨノ、尾身栄作、委原勝利、島田キクエ【川治六箇地区】村山スミ、遠田長作、小林義治、高橋藤作、渡辺勝太郎、南雲志郎、村山富太郎、○柳貞太郎、福崎ナツ、鈴木邦治、林福市【太沢地区】富井修三、鈴木正吉、○上村順平、武田ツネ子、佐藤重夫、山崎芳一、村山行作、保坂辰平、宮沢徳吉、飯塚能喜、上村善司、宮沢信子

なお国保の被保険者証についてこの家族七割給付の明示は、十二月に行なうことになっていますのでご了承下さい。

異動の届出は一日も早く

国保加入者で

①住所を他所に異動した場合

②国保から他の社会保険等へ加入既選した場合。

③世帯を分けた場合は一日も早く市民課か出張所へ印かんを持って届出て下さい。

一日以内に届出をしないと保険料がかさんでゆきますのでご注意下さい。

ご協力ありがとう
赤い羽根募金

昭和四十年度共同募金につきましては市民の皆様の温かいご同情と、深いご理解によりまして、つぎのとおりの成績を得ましたので中間報告をさせていただき厚くお礼申し上げます。

なお未納部落、町内は早急に納入下さい。

戸別募金

地区別	目標額	納入額
十日町	四三二,三〇〇円	四四二,四〇〇円
中条	三三四,三〇〇円	三〇一,三一〇円
川治	一七〇,一〇〇円	一四七,〇一〇円
六箇	三三,七〇〇円	三三,七〇〇円
吉田	八六,六〇〇円	八〇,三〇〇円
下条	九四,七〇〇円	九四,七〇〇円
水沢	一三四,四二〇円	一三四,四二〇円
法人募金	三七,一〇〇円	一〇七,七〇〇円
学校募金	一〇七,七〇〇円	

16日に市議会

第四回定例市議会は十六日開催。一般質問のあと、昭和四十年度一般会計補正予算並びに昭和三十九年度一般会計決算認定などを審議。

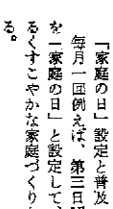
水道検針日の臨時変更

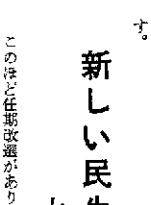
来年一月の水道検針、集金日は一日から三日まで正月休暇のため毎月の各家庭の検針及び集金日からそれぞれ三日ずつ繰り下りますのでお知らせいたします。

ぞくぞく歳末たすけあい

社会福祉事業のお歳にと、市社会福祉事務所につぎの方々が寄附されました。

庭野日敬氏	十万円
十日町輸業組合	七万二千円
とく名	十万円
常角熊吉氏（魚の田川）	三千百五十円





- 年賀状は **12月21日**までに「十日町市あて」と「それ以外あて」のものに分けてお出し下さい。
- あて名は、くわしくはっきりと
- 戸ごとに表札と郵便受箱を

— 十日町郵便局 —

年末年始

年末年始の支払

年末　十二月十八日までに支払手続きのものにより、つぎの日時に支払います。

十二月二十四日、二十五日、二十七日

年始　一月十日、二十五日

年末年始の休み

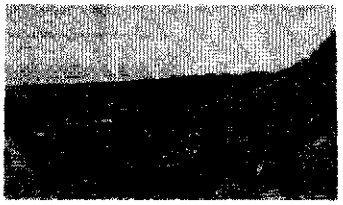
年末　十二月二十九日、三十日、三十一日

年始　一月一日、二日、三日

学校林ナンバー・ワン

林野庁長官賞に輝く水沢中学校

県下でも有数な学校林



十日町市水沢中学校はこのたび本年度学校林の手入コンクールで優秀な成績をおさめ、林野庁長官賞をはじめ四つの賞を獲得し、先月二日弥彦で晴れの表彰を受けました。

この催しは県教委、県国土緑化推進委員会共催で行われましたが、各賞においてそれぞれ特選を占めたことは同校はもちろんのこと市の誇りです。

この四つの賞はいずれも特選で「林野庁長官賞」「県知事賞」「国土緑化推進委員会賞」「教育委員会賞」でなかでも「林野庁長官賞」は県下でただ一点という名誉ある賞状です。

同校は昭和二十五年当時教育の一環として南寒原に三ヘクタールの植林を行ったのがはじまり、その後三十一年から当間山の国有地約二十ヘクタールを六十年契約で借受け五万本の杉を植林して本格的な学校造林を実施しました。

現在では大きいもので周囲四十センチ高さ五メートルにのびているそうですが、これまでには故田中校長先生をはじめ当時の村当局、PTAが一丸となって学校林の育成に骨身をけずる努力を続けてこられ、その伝統がいまなおうけつがれ毎年全生徒六〇〇人がPTAと一緒に学校林に出かけ、無報酬で造林地の手入をしているということで、今回の表彰につきまして宮沢校長先生は「学校林の育成について生徒を中心に学校とPTAが一体となって先輩の志をうけついで限りない情熱をかたむけ続けて来たその結果が報いられたものだと思います。」と語っていました。

【写真は学校林と林野庁長官賞を手に喜びの宮沢校長】

生活保護世帯に四百円

歳末たすけあい配分金

市民の皆様から共同募金といっしょに頂きました歳末たすけあい援護会の配分額が、二十三万円に決定しましたので、つぎの計画によって配分することになりました。

◎一般生活保護世帯

一世帯につき四百円宛

世帯員二人以上一人増すごとに五十円加算

◎長期入院患者

六ヶ月以上入院患者一人四百円宛

◎社会福祉施設入所者

児童福祉施設（保育所を除く）

身体障害者（児）福祉施設

精神薄弱者（児）福祉施設

老人福祉施設、里子、里親

一人四百円宛

この他県からは被保護世帯にたいし五百円相当の食料品詰合せセット、又生活保護法によって入院している皆さんも三百円から五百円相当の日用品詰合せセットが、又本年からは結核予防法で入院している皆さんにも百五十円相当のタオル詰合せセットが各々歳末慰問として、本月二十日頃までにはお手もとにされた場合郵送（ナンバー）交付を受ける郵別表に掲げる月割税額を納めて下さい。必らず印かんを持参して下さい。

軽自動車の月割税額

申告には印かんを

軽自動車税の月割課税の方法が次のように一部変更になりましたからお知らせします。新たに原付自転車及び耕運機を取得

種別	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
原付 1cc～3cc 検査不要		370	330	300	270	240	210	180	150	120	90	60	30
第1種 M.T. 51cc～90cc		600	550	500	450	400	350	300	250	200	150	100	50
第2種 M.T. 91cc～125cc 軽自動車検査証交付		720	660	600	540	500	420	360	300	240	180	120	60
特殊	一輪	1,100	1,000	930	830	740	660	550	460	370	270	180	90
自動車	二輪	1,500	1,370	1,250	1,120	1,000	870	750	620	500	370	250	120
軽自動車	四輪乗用	3,390	3,080	2,800	2,520	2,240	1,960	1,680	1,400	1,120	840	560	280
	四輪小型貨物	1,870	1,710	1,550	1,390	1,240	1,080	930	770	620	460	310	150
	三輪小型貨物	1,870	1,710	1,550	1,390	1,240	1,080	930	770	620	460	310	150

この税率は100cc以下の原付を除く自動車の場合です。ご注意下さい

市税納入の取扱いは30日午后5時まで!!

一カ年の総しめくりです　みんな納めて明るい年越を

営農リーダーの認定を習得しよう

農村文化の発展と近代農業のにない手としてこれからの営農に科学的知識を身につける「営農リーダー」の認定がつぎの方法により行なわれますので希望者はどしどしお申込み下さい。

養成方法＝通学方式で性別、学歴を問わず、かつ各地区ごとに一流講師を派遣して指導、直接指導を行ないながらにして高い水準の養成指導が受けられる。

養成期間＝一ケ年（「農業経営課程」「農業機械課程」）の二課程、同時でも一ケ年。

尚一課程合格者には二級リーダー二課程合格者は一級営農リーダーに認定。

養成費用＝入学金三〇〇円、受講料年間三、三〇〇円。

免除＝同時に二課程受講の場合は入学金一課程分免除。

尚年に優秀者は文部大臣の表彰及び推せんがある。申込等の詳細は農業委員会まで。

し尿汲取り申込みは市民課窓口へ

し尿汲取り申込みについて衛生体育課へ申込む方がございますがお申込みは市民課へどうぞお願いします。し尿汲取り、ゴミ収集も年末は三十日まで平常通り作業を行ないます。し尿のほうは大変こんでいますのでお申込みはお早めにどうぞ。

新しい農業

反当収入 八万六千円 ③

中在家地区のたばこ

中在家地区（旧水沢村）

本地区は当間川の中流に位する二十四戸の部落で純農村地帯です。本地区も前回の細尾と同じように恵まれた畑地を有しながら効率的な利用ができずに年年畑は荒れるにまかされている状態です。何とかしてこの畑地を高度利用しようと何回も会合としては大変有利なものとして注目されてきました。今年は一戸当り平均二十アールの作付をし反当八万六千円の粗収入をあげ部落全体では三百四十六万円の収入を得ることができました。来年度から一戸当り四十アール合計八ヘクタールを作付する計画で農家は今から張り切って準備にかかっています。

一戸当り四十アールということになるとかなりの労力を必要とするところから、水田の区画整理を行い、浮いた労力をたばこに振り向ける一方、八ヘクタールのたばこを一団地にまとめ区画整理を行った上で機械化及び共同作業を行って一日当りの労働報酬を高める計画です。このほか、育苗ハウスで共同育苗を行い、六棟の乾燥室で共同乾燥を行って品質の向上に努める計画です。特に乾燥室は屋根を急勾配にし、雪を自然落下させ流雪溝によって処理するような設計になっており、農業施設としては特異な存在となるでしょう。

事業の概要

一、区画整理　十九ヘクタール　千六百二十四万円

二、たばこ育苗施設　一棟　五十万円

三、たばこ乾燥施設　六棟　七百四十万円

合計二千四百十四万円、うち補助金千五百三十万円　（おわり）

おかあさん

—子どものねがい—

■うちのおかあちゃんは三十八です。だからもっとわかくなってほしいとおもいます。

■ぼくのおかあさんはおこりんぼでしょうがない。まいにち一かいおこるから、ぼくはまいにち一かいなく。きのうもしかられてないた。でもきこうはまだしかられない。きょうかえるとまたしからるかもしれない。

■わたしにおとうさがいます。あまりけんかをしないのですが、学校からかえってくると、どうしてもわたしにむかってきますが、しかしいのだとおもいますが、だけどわたしも、むかっていきます。おとうさがわるいのですが、わたしがしかられます。おとうさも、しかってもらいたいとおもいます。

■わたしのおかあさんは、おとうさんが、おさけをのんでくると、ときどきけんかをすることがあります。わたしは、おとうさんとおかあさんがけんかをしているところを見ると、どうしてけんかなんかするんだろうと思います。わたしはけんかを、やめてもらいたいからです。わたしは、もう一つおねがいがあります。それは、おとうさんがおかあさんに、もっとやさしくしてもらいたいことです。

■わたしのおかあさんは、おみせをやっています。休みが一カ月に二回ぐらいしかありません。みんなでそろって夕ごはんをたべるときは、二カ月に一回か一カ月に一回ぐらいです。みんなそろってたべるのが、すくないのでみせの休みを一回か二回ふやすか、みせの休みのときは、なるべくおとうさんがいるようにしてもらえればいいと思います。

■おとうさんもあかあさんも、とてもいそがしくてあまりやすむひまがありません。わたしともあまり、はなしをしてくれません。わたしはおとうさんやおかあさんが、わたしのはなしをきいてくれたり、いっしょにたのしくはなしをしてくれたりすれば、とてもよいとおもっています。

■ぼくがおかあさんに、なにかがほしいなあ、というといつも「せいせきがよくなったら、なんでも買ってやるよ」という。「まったく耳に、タコができるよ」というと「いわれたくなかったら、ちゃんと勉強しなさい」とまたおかあさんの声が、かえってくる。まったく、やんなっちゃうよ。こっちはこっちなりで、ちゃんと勉強しているつもりなんだから、やめてもらいたいなあ。それいじょうにおこごかいもしないでもいいんだ。ぼくのともだちのおかあさんもみんなそうだ。そんなにクラス一ばんがいるとするといったいクラスでビリの人はいたのかな。

■ぼくのおかあさんはいつも買ものにいくとき左がわを通っている。だからぼくが「左がわを通ると、じこがおきるよ」といっても「いいからいいから」といっている。その左がわを通るくせをやめてもらいたい。

■うちのお母さんはとても、きんぺんなのでよくわたしたちをおこる。いつもおこっているのでおこられてもあまりこわくない。おかあさんとけんかした時でも、わたしが平気な顔をしているとおかあさんはなおおこる。まるでいじっぱりがっ敢をしているようだ。